

中学校

自然物からの構成



岩間中学校 2年 渡引 杏菜

私はワタシ

内容項目

1-(5) 自己の特性を理解し、個性を伸ばしよりよい自己を形成する。

自殺予防との関連

この時期の生徒は、周囲の目や他者からの評価を気にしてしまい、自分の個性や特性を抑えて他に迎合したり、自己をよりよく生かしていくことができなくなったりする傾向がある。また、人間関係が壊れると、相手の性格や個性を否定したり、自分自身を否定して自己嫌悪に陥ったりすることもある。

本資料では、自分の性格や行為に対して不安や不信を抱いていた主人公が、友達からの予想外の言葉に励まされ、自信をもつようになる姿に共感することを通して、自分の個性を大切にし、よりよい自己を生かしていこうとする心情を育てたい。

板書の例

挿絵① 掃除の時間に、友達からいやな目つきで見られているときの私の様子

挿絵② 笑顔で応える私の様子

本時のねらい

自己の特性を理解し、よりよい自己を形成しようとする心情を育てる。

展開の例

時間	主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問	教師の働きかけ 評 評価
5分	1 「個性」について話し合う。 ・自分はみんなと違うな、と感じることがある。 ・個性的な自分を誇らしく思える。 ・劣等感を感じることもある。	・どんな人間も、他者とは異なる自分の個性をもっていることに触れ、価値への方向づけをする。
30分	2 資料「私はワタシ」を読んで話し合う。 ○「まじめちゃんの言うことはちがうよな。」と言われたとき、私はどんな気持ちだったろう。 ・何と思われてもかまわない。 ・自分だけのけ者扱いされていやだ。 ・言わなければよかった。 ・まじめな私は、みんなとうまく付き合えない。 ・私は、どうしたらいいのだろう。 ◎家で家族の言葉を聞いた私は、どんなことを考えただろう。 ・姉の言う通り、これからはみんなに合わせようか。 ・姉の言う通りにすると、自分自身がなくなってしまうのでは…。 ・父の言うように、やはり自分は自分でいい。 ・自分のまじめな性格を表に出すと、これからはみんなから理解されないのでは…。 ○「いいのよ、そんなこと」と言ったとき、私はどんな気持ちだったろうか。 ・自分が認められてうれしい。 ・自分に自信が持てた。 ・私は、ワタシでいいんだ。	・場面の様子を挿絵で示すことで、登場人物の心情に迫りやすくしたい。 ・意見が出ないときは、状況を丁寧に確認することで、戸惑いを感じる主人公の心情に迫れるようにする。 ・家族の言葉に対して、どうしたらよいか思い悩んでいる主人公の心情に迫れるよう、補助発問を工夫する。例えば「姉（父）の言う通りにすると、どんなところが満足できるのだろうか。また、どんな不満が残るのだろうか。」などと問いたい。 ・まじめな主人公の言動に対してこれまで否定的であった周囲が、主人公を認めたことで、主人公自身が自己肯定感を高め、清々しい気分ひたっている心情に迫れるよう、補助発問を工夫する。例えば、「班長から『ごめん』と言われたときの気持ちを考えてみよう。」などと問いたい。
10分	3 生活を振り返る。 「自分らしさ」について考える。	評 自己の特性を理解して、よりよい自己を形成しようとする気持ちを持ち、表現している。 (発表・ワークシート)
5分	4 教師の説話を聞く。	・個性を生かして活躍している人物について話したい。

「私はワタシ」

私は、友達付き合いが苦手。自分でもよく分かっているけれど、まじめすぎるのだ。以前にこんなことがあった。

部活の帰り道に、みんなは自動販売機でジュースを買うことになった。私は「学校の規則だから……」と言って断った。みんなからは「まじめちゃんだもんね。」と言われた。

この前の掃除そうじの時間にも、私がいつものように机を運ぼうとすると、班長の鈴木君が「今日は先生が出張でいないから、机は運ばなくていいよ。きっと、ばれないよ。」と言った。みんなも「そうしよう。」と言った。でも、私は反対し、冷たい視線を浴びたのだ。鈴木君は、「やっぱりまじめちゃんの言うことはちがうよな。後で先生にちくられるとやばいからさ、みんな、やっぱり運ぼうぜ。」と言い、みんなしぶしぶ机を運んだ。私はみんなににらまれた。正しいことを言っているはずなのに、どうしてこうなってしまうのだろうか？いつものいやな空気になった。私はその場に居づらくなり、足早あしはやに教室を出た。私は、自分でも自分の性格をよく分かっていたが、まじめすぎて友達とうまくいかない自分が、だんだん嫌いになっていた。

帰ってから、このことを家族に話すと、姉から「あんたは、上に何とかがついちゃうくらいまじめだからね。少しは、みんなに合わせたほうがいいよ。友達いなくなっちゃうよ。」と言われた。母は、「それがあなたのいいところなのよ。」と笑顔で言った。新聞を読んでいた父は顔をあげて、「自分が信じる生き方をしなさい。」と、きっぱり言った。

翌日の放課後、私は鈴木君に、思いもよらない言葉をかけられた。

「昨日は、ごめん。今朝、先生に呼ばれてさ。いつも教室掃除をよくやってくれているって褒められたんだ。先生がいない日も教室がきれいなのは、班長がしっかりしているからだつてさ。でも、おれ……」

私は、鈴木君が言い終わらないうちに、「いいのよ、そんなこと。これからもよろしくね。」とだけ言い、その場を後にしながら、昨日きのうの母の言葉を思い出していた。

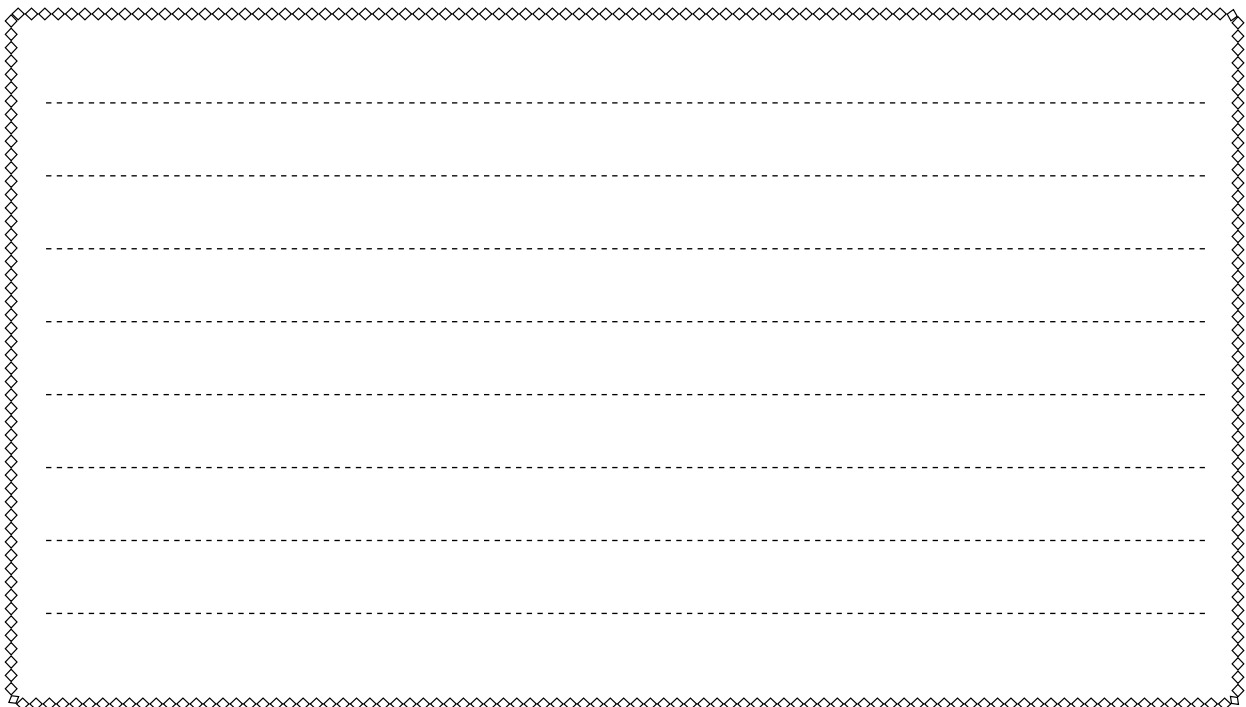
「私はワタシ」

1年()組()番 名前()

- 家族の言葉を聞いて、私はどんなことを考えただろう。



- ☆ 「自分らしさ」について考えたことを書いてみよう。



新しいクラスメートはどんな人？

指導にあたって

1 題材設定の理由

中学校へ入学すると生活状況が大きく変わる。複数の小学校から集まり新たな集団生活が始まる。また、小学校から同じ集団の継続の場合でも、一人一人の気持ちが大きく変わり、新たな集団が作られる。そのような期待や不安の多い時期に合わせ、自分自身を見つめる機会を設定し、お互いに自己開示する活動を構成的グループエンカウターの手法を用いて行う。一人一人の思いやよさを確認し、認め合うことで、好ましい友人関係を構築し、よりよい学級集団を育成していくためにこの題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

- ①ワークシート1のヒント項目に自分の考えを記入させて回収しておく。
- ②友だちと協力したことや助け合ったことなどの事例を話題にしておく。

(2) 事後指導

- ①委員会活動や係活動の決定や、校外学習や各種行事のグループ編成の場面で一人一人のよさを生かすことを話題にする。
- ②キャリア教育適性検査などを活用し、一人一人の個性の違いについて話題にする。
- ③学校行事等の機会を利用して、友だちのよいところを発見し、伝え合うエクササイズを行うとさらに効果がある。

(3) 留意事項

ゲーム化することで、集団での活発な活動や意欲化を図ることができる。担任の思いや学級の実態に応じて学習の進め方を工夫することができる。

3 参考文献

「エンカウターで学級づくり12か月」(吉澤克彦・野澤一吉編)(明治図書)

板書の例

新しいクラスメートはどんな人？

個性の集まり

だまし絵

- ・見方によって変わる。
- ・一人一人違う

＝エクササイズを進め方＝

- ①ヒント項目に自分の書いたものが読まれたらその場に立つ。
- ②次からのヒント項目で、該当しないときには座る。
- ③数人に絞られたら、読まれた項目に該当する人を予測する。

※ひやかさない。相手を大切にす。

みんなが楽しい学級

- ・友だちの知らない一面を知った。
- ・一人一人考え方が違う
- ・協力や助け合うことは大切だ。
- ・何でも話し合える学級にしたい。

展開の例

時間	学 習 内 容	指導上の留意点 [評] 評価
10分	1 本時の学習課題を確認する。	・クラスメートについて新たな発見をし、さらにまとまりのあるクラスを目指して本時のエクササイズを行うことを説明する。
	新しいクラスメートはどんな人？	
15分	2 絵を見て話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・見方によって見え方の違う絵（だまし絵）を見て、何に見えるか自由に話し合う。教師がリードして話し合いの雰囲気を高める。 ・物の見方や考え方は一人一人違いがあり、集団生活の中では、その違いをお互いに認め合うことが大切であることを確認する。
	3 「新しいクラスメートはどんな人？」のエクササイズを行う。 =進め方= （お互いに顔が見えるように、コの字型に机を並べる。） （1）教師が読み上げるヒント項目を聞いて、該当者が立ち上がる。 （2）その他のヒント項目を聞き、該当者だけが立ったまま残り、その他は座るようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・教師がヒント項目を読み上げ、進め方の確認や拍手をするなど、雰囲気を盛り上げながら和やかに進行できるようにする。多くの人数が共通する内容のヒントを選んで読み上げるようにする。 ・人数が絞られてきたら、ヒントを書いた人物が誰か考えさせる。人物がわかったら本人から自己紹介を兼ねて、ワークシート1の7～10を発表させる。 ・人数の少ない学級や担任の学級経営によって、記入者をあてるようなゲームに変更することもできる。
5分	4 一人一人を大切にできるような教師の説話をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の考え方や思いは違うことを確認し、その違いを認め合うことの大切さを伝える。
20分	5 本時の授業の感想を記入し、話し合う。 ・友だちの知らなかった一面を知った。 ・友達と同じような考えや違った考えがあっておもしろかった。 ・友だちと協力することが大切だ。楽しい学級にしていこうと思った。	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いに認め合うことや協力することを今後の学級の活動に生かして行くことを伝え、誰もが居場所のある学級づくりをしていこうとする意欲づけをする。 <p>[評] 友だちの思いやよさを確認し、お互いに認め合い、好ましい友人関係をつくろうとしている。（ワークシート、発表、観察）</p>

ワークシート1

○各項目の内容については、学級の実態や学級担任の思いなどに応じて変更することができる。

新しいクラスメートはどんな人？ヒントカード

=ヒント項目= 1つに決められない人は、たくさん記入してもかまいません。

- 1 わたしの好きな教科は()です。
- 2 わたしの好きな部活は()です。
※入部予定も含む
- 3 わたしの好きな食べ物は()です。
- 4 わたしの好きな芸能人・アニメは()です。
- 5 わたしは、時間があったら()
したいです。
- 6 もし1億円の宝くじが当たったら
()します。

-
- 7 わたしの名前は()です。
 - 8 わたしの出身は()小学校です。
 - 9 好きな言葉は()です。
 - 10 今年の目標は()です。

ワークシート2

名前

★今日の授業で感じたことや友だちの意外だった一面を書いてみよう。

心のノート中学校「いろいろな立場があり考えがある」P60～64

この絵は何に見えますか？



どんなふうに見えるかな？
友達にも聞いてみましょう。

認め合い
学び合う心を

何に見える？

それだけかな？

ひとつのものについても、見る角度によって見え方が違いますね。世の中のできごとと同じです。こんなことがたくさんあります。自分の見方や考え方がすべてではありません。どのようにしたら相手の立場や考え方を尊重しつつ自分らしく振る舞うことができるかを考えてみましょう。

いろいろな立場があり考えがある

人それぞれに異なるものの見方や考え方が



Free Space あなたと異なるものの見方や考え方に会ったことはないですか？

■立場とは、文字どおり「立っている場所」。同じ一人の人間でも、与えられている役割やそのとき置かれている状況によって物事は違って見えてくるものです。
■ましてや他の人ならなおさらです。あなたがいま立っている、その同じ場所に他の人が立ったとしても、ものの見方や考え方はあなたと同じであるとは限りません。

60
61

他の人

の立場や考えを理解していない自分



あなたには
自分のことを他の人にわかってもらえずに
傷ついた経験はありますか？
他の人に理解されないときってどんな気持ちだったでしょう？
相手が理解しなかったのはなぜでしょう？
反対に、自分が相手の考えを理解していなかったと
気づいたことはないでしょうか？

に気づいた経験はありますか？



人にはそれぞれの事情があり、考え方もさまざまです。相手の立場を考えながら、人間関係をつくっていくのは大変だと思うときもありますね。でも、相手の立場を考えた言動にホッと心があたたまったり優しい気持ちになったりすることがあります。

いろいろな人のものの見方や考え方から学ぶことで自分がより大きくなる

人には、いろいろな立場や考えがあることが理解できると私たちはそこから多くのことを学ぶことができます。自分では気づけなかった周囲の人のものの見方や考え方に触れることは自分の心の成長にも大きく役立つはずです。



人の言動にハッと気づいたり、なるほどと思ったり、これを生かそうと考えたりしたことがありますか。

年月日

年月日

年月日

62
63

見方によって見え方の違う絵(だまし絵)は多くの種類がある。学級の実態に応じ工夫して使用する。

✎ 生きている・・・ということ

内容項目

3- (1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。

自殺予防との関連

この時期は、多くの生活場面で自己を発揮し、中心となって活躍できるようになる。しかし、一方ではさまざまなことが要因となって将来に希望がもてず、自分に自信をなくして悲観的になったり、自己の存在そのものを否定的に捉え、自暴自棄になったりする場合もある。

そこで本資料では、東日本大震災で助かった命をテーマに取り上げ、自分や家族が「生きている」ということを実感し喜びを感じる主人公の心情を追いながら、自他の生命を尊重する態度や心情を育てたい。

板書の例

「生きている」ということ

・・・ ◎ 「涙が止まらなかった」

・・・ ○ 「ひどを抱えたまま、ごろりと横になった」

・・・ ○ 「ほっとしてよ、どうせ私なんか」

「生きている」・・・ということ

震災の写真 (避難所等での人々の様子)

震災の写真 (家屋の倒壊等)

本時のねらい

生命の大切さについて考え、自他の生命を尊重する態度や心情を育てる。

展開の例

時間	主な活動・発問と予想される反応 ○基本発問 ◎中心発問	教師の働きかけ 評 評価
5分	1 「今、自分は生きている」ということについて話し合う。 ・実感がない。 ・大怪我をしたとき、生きていてよかったと思った。 ・いつまで生きていられるのか不安に思うことがある。	・「生きている」ことについて、話し合う。 ・生きていることを実感した経験や、死への不安など、関連することを含めて自由に話し合うことで価値への方向づけをする。
30分	2 資料「生きている・・・ということ」を読んで話し合う。 ○私は、どんな気持ちで「ほっといてよ。どうせ私なんか。」と言ったのだろう。 ・もう、何もかもいやだ。 ・学校に行きたくない。 ・だれとも話したくない。 ・死んでしまいたい。 ・もとに戻らないかな。 ○ひざを抱えたまま、ごろりと横になったとき、私はどんなことを考えただろう。 ・疲れた、苦しい、寒い、痛い。 ・家族や友達は無事だろうか。 ・これからどうなるのだろうか。 ・みんな、無事に生きていてほしい。 ◎涙が止まらなかった私は、どんな気持ちだったのだろう。 ・空腹や痛みを感じる事ができてうれしい。 ・生きていて、よかった。 ・小さなことに、くよくよするのはよそう。 ・自分の生命、みんなの生命を大切にしよう。	・資料の状況がよく伝わるよう、教師が範読する。 ・些細なことから友達と対立し、なげやりになっている主人公の心情に共感できるよう、補助発問を工夫する。例えば「どうせ私なんか…」の後に続く言葉を想像してみよう」などと問う。 ・体力の低下や健康状態の悪化から、疲労や頭痛腹痛など肉体的な苦痛があることも認め、取り上げる。 ・非常事態における不安や恐怖、家族や友人知人を心配する主人公の心情に迫れるよう、状況を確認する。 ・涙の意味を考えることで、自分が生きていることを素直に喜び、生命の尊さを実感している主人公の気持ちに共感できるようにしたい。 ・資料冒頭での主人公の心情と対比させることで、生きていることの大切さや尊さに気づくことができるよう補助発問を工夫する。
10分	3 生活を振り返る。 「生きている」ということについて思ったことや考えたことについて書く。	評 生命の大切さについて考え、自他の生命を尊重する考えや気持ちをもち、表現している。 (発表・ワークシート)
5分	4 教師の説話を聞く。	・かけがえのない生命について教師の思いや体験を話す。

生きている・・・ということ

私はその頃、いつも「死にたい、死にたい・・・。」と考えていました。ちょっとしたことが原因で友達と対立し、よくないうわさが流れました。それがあつという間に広がり、気がつくと私は完全に孤立してしまっただけです。それまではクラスでも部活でもリーダーとして振舞っていましたので、これはこたえました。体調も悪くなりました。家族は「大丈夫よ、何とかなるわよ。」とか「少し、休んだらどうだ。」とか声をかけてくれましたが、「ほっといてよ。」「どうせ私なんか。」私の口からはそんな言葉しか出ませんでした。

あの日もみんなが部活動に向かう中、私は一人で下校しました。学校の坂を下りてしばらく行ったところで、私はあの地震にあったのです。ゴーッという気味の悪い地鳴りに続いて大地が揺れました。思わず座り込んでしまうほどの地震・・・。家々の屋根からかわらが雨のように落ちてきました。道路わきのコンクリート塀がゆらゆらと波打ち、崩れていくのを見ました。まるで映画のような光景でした。揺れがおさまり、ふとわれに返った私は家に向かって走り出していました。角を曲がったところにある家は大きく傾き、煙が漂っています。「お母さん!」「おばあちゃん!」無我夢中で、割れたガラス窓から中に向かって呼び続けました。返事はありません。その時誰かが「津波だーっ、逃げろーっ!」と叫びました。その声には私は弾かれたように立ち上がり、学校めがけて走りました。走り続けました。何か重いものがぶつかり合うような衝撃、ガラスが割れる音、誰かの叫び声、動くはずのない電柱や屋根が迫ってきます。「ああ、もうだめだ。間に合わない。」そう思った瞬間、私の体はすごい力で水の中に引っ張られました。上も下もわからない状態で私は必死にもがきました。「死にたくないっ!死ぬのはいやだっ!!」

どれくらいたったのでしょうか。気がつくと私は知らない場所にいました。暗くて寒い場所でした。暗闇に目が慣れると周りにたくさんの方がいるのに気づきました。知らない人ばかりです。「気がついた?」隣にいた女の方が声をかけてくれました。私は濁流に流されていく途中で消防団の人に腕をつかまれ土手に引き上げられたそうです。大人たちの押し殺したような声が聞こえてきました。「誰々さんが流された。」「誰々さんは家の下敷きになった。」なぜ・・・?家族は・・・?友達は・・・?私はひざを抱えたまま、ごろりと横になりました。余震が続く暗闇は、恐怖と絶望と疲労に満ちていましたが、私はいつの間にか眠っていました。

翌朝、私は寒さと空腹で目を覚まし、ふらふらと外に出ました。体中に鈍い痛みを感じ、ふと見るとふくらはぎにはべっとり血と泥がこびりついています。制服もぐしゃぐしゃで靴も履いていません。目の前には昨日とはまったく別の無残な景色が広がっていました。寄りかかった木の枝に雪が積もっていましたが、枝先には新しい芽がふくらんでいました。「生きているんだ、この木は・・・。」「生きている、生きている・・・。私も・・・生きている・・・。」どんよりと曇った空の隙間から太陽が顔を出しました。私は涙が止まりませんでした。

この東日本大震災では多くの尊い命が失われました。幸い私の家族は全員無事でしたが、家も町もみんななくなっていました。でも朝が必ず来るように私たちの町は必ず復興します。これからも困難や苦労は山のようにあるでしょうが、きっと何とかなるはずです。私は今、亡くなったたくさんの方たちの分まで精一杯生きていこうと思っています。

生きている・・・ということ

2年()組()番 名前()

○ 涙が止まらなかった・・・私の思いとは？

Writing area for the first question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

☆ 「生きている」ということについて思ったことや考えたことを書こう。

Writing area for the second question, featuring a decorative border and horizontal dashed lines.

「いじめ」気づいたらどうする！！

指導にあたって

1 題材設定の理由

この時期は体が急成長することで、心身がアンバランスになり、中学校時代の中で最も不安定な時期である。加えて、学習のつまずきや部活動の悩み・人間関係のトラブルによるストレスで、うまく集団の中で生活できない生徒も出てくる。この不安定な中に、いじめの起こる土壌がしやすい。

中学生になると携帯電話の所持率やインターネットの使用率が高くなる。「直接的ないじめ」だけでなく誹謗中傷を書き込む「ネットいじめ」も起こりやすい。自分たちのまわりでも起こる可能性があることを考え、適切な対処の仕方を身につけることが必要と考え、この題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

①生活状況調査、いじめに関する調査、学級集団への所属感に関する調査などを実施し学級の現状を把握しておく。

(2) 事後指導

①ワークシート「いじめに気づいたらどうする」に記入したことを意識させ、具体的な事例をとりあげる。

3 参考文献

(1) 「生徒指導部研究収録 第41集 明日を拓く生徒指導」

(岡崎少年愛護センター・岡崎市現職研修委員会生徒指導部編)

(2) DVD「ちょっと待って、ケータイ2④卑劣なネットいじめはNO!」

(財団法人日本視聴覚教育協会)

板書の例

「いじめ」気付いたらどうしたらよいか考えよう

いじめをうけている少女はどんな気持ちだろう。

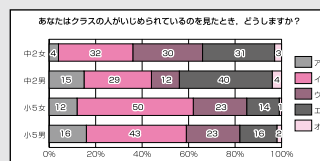
- ・ 誰にも相談ができなくてつらい。
- ・ 学校に行きたくない。
- ・ 死んでしまいたい。

見て見ぬふりをする人が多いのはなぜだろう。

- ・ どうしたらよいかわからない。
- ・ 助けると自分もいじめられる。
- ・ いじめられる側にも問題がある。
- ・ 自分に関係ない。

いじめを見たらどうすべきか。

- ・ いじめられている子に声をかけ助ける。
- ・ いじめている子をとめる。
- ・ 担任の先生に知らせる。
- ・ 友だちや親に相談する。



展開の例

時間	学 習 内 容	指導上の留意点 評 価
5分	1 「直接的ないじめ」「ネットいじめ」について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・直接的ないじめと相手がわからずにネット上に悪口などの情報が流されるいじめについて、自分の身近なところで起こる可能性があることについて確認する。 ・いじめがエスカレートして自殺した中学生の例を示してもよい。(参考資料1)
10分	2 DVD「卑劣なネットいじめはNO!」を見る。	
	3 本時の学習課題を確認する。	
「いじめ」気づいたらどうする!!		
15分	4 DVD「卑劣なネットいじめはNO!」について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを受けている子の心情を考えるとともに、友人や先生・家の人などに相談することが大切であることについて確認する。 ・中学生の3人に1人が「見て見ぬふりをしている」ことを確認する。(参考資料2) ・ネットいじめは、相手が特定されず「次は自分もやられてしまう。」という考えになりやすいことに気づかせる。 ・いじめに気づいていながら見て見ぬふりをしてしまうことについて、資料を提示しながら話し合う。(参考資料3) ・ネットいじめの特異性からエスカレートしていくことや犯罪につながりやすいことに気づかせる。 ・見て見ぬふりをするということは消極的ないじめであることを強調する。 ・いじめを見たときに、見て見ぬふりをせず、自分にできることは何かを考え具体的な行動を起こすことが大切であることを助言する。
	(1) いじめを受けている少女の気持ちについて話し合う。	
	(2) いじめについてのアンケート結果を見て「見て見ぬふりをする」ことが多い理由について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・どうしたらよいか分からないから ・助けると自分もいじめられるから ・いじめられる側にも問題があるから ・自分に関係がないから 	
15分	(3) 気づいているまわりはどうすべきかを班で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・いじめられている子に声をかけ、助ける。 ・「犯罪」だからすぐに先生や家の人に伝えるようにアドバイスする。 ・担任の先生に知らせる。 ・大人の人に相談する。 ↓ ○話し合ったことを「いじめに気づいたらどうする」のワークシートにまとめて全員で確認し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに気づいた時の対処の仕方を理解している。(ワークシート・観察)
5分	5 教師の話を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、今後の生活の中で実践できるよう意欲づけを図る。

参考資料1

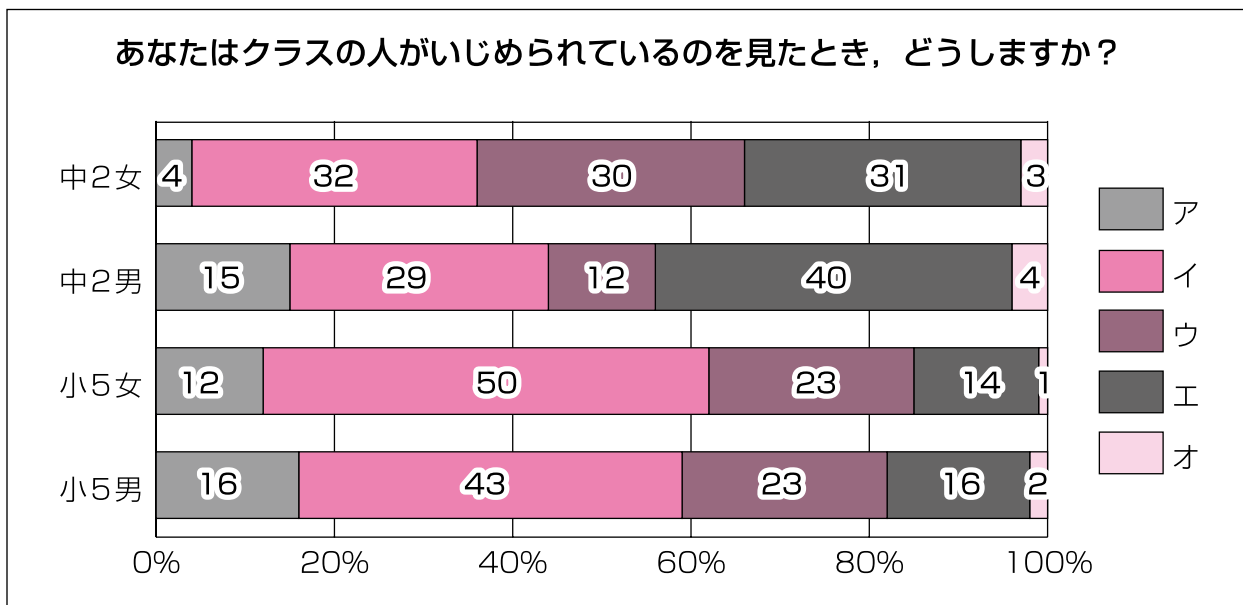
中学2年に進級したA君は、クラス内のあるグループから使い走りをさせられるようになった。10月ぐらいから「ふざけ」がエスカレートしていき、顔にマジックでヒゲをかかれたり、廊下で踊らされたり、服にマヨネーズをかけられたりしていた。いじめはさらにエスカレートしていった。プロレスごっこのサンドバッグ、モデルガンの標的、積み上げられたイスと机に閉じ込められる、野球拳で服を脱がされるなど……。

そして、ついにA君は次のような遺書を残してこの世を去った。

俺だってまだ死にたくない。けどこのままじゃ「生き地獄」になっちゃうよ。ただ、俺が死んだからって他のやつが犠牲になったんじゃ意味ないんじゃないか、だから、君たちもバカな事をするのはやめてくれ、最後のお願いだ。

参考資料2

生徒指導部研究収録 第41集 明日を拓く生徒指導



ア 勇気をだしてとめる

イ 友だちと協力してとめる

ウ 先生に言ってとめてもらう

エ 見て見ぬふりをする

オ いじめる仲間に入ってしまう

心のノート「この学級に正義はあるのか」

こんなあなたはいませんか？



知らんぷり型

視界に入っているのに
心の目が見ようとしな

傍観者でいて
どうやって正義を
実現するのですか？



自分がカワイイ型

ひと言注意すれば
解決するかもしれないことに
口をつぐんでしまう



無関心よそおい型

つらい思いをしている
仲間の声が聞こえているのに
聞こえないふりをする

いじめに気づいたら

二年 組 氏名

いじめに気づいたらどうする

「死にたい」という人がいたらどうしよう

指導にあたって

- 1 題材設定の理由

「立志」の年齢にあたるこの学年で、「命を大切にしていりよく生きたい。」という意識をもたせたい。自他の命を大切にするとともに、「死にたい」と言う友だちに気づいたらそれを止めるための対応を身につけるため、この題材を設定した。
- 2 指導の流れ
 - (1) 事前指導
 - ①命の大切さや人の死に関する新聞記事やコラムを紹介する。
 - (2) 事後指導
 - ①将来の夢に向かって生きることの尊さを考えさせ、立志活動(学校行事)につなげる。
 - ②道徳で、内容項目3-(1)生命尊重について学習する。
 - (3) 留意事項

身近な人を自殺で亡くしている生徒や、家族の「死」に直面している生徒について把握しておく。学級の実態に応じてスクールカウンセラーや養護教諭などに相談し、連携した指導が必要である。

板書の例

「死にたい」という人がいたらどうしよう				
「死」のイメージは ・ 怖い ・ 命がなくなる ・	◎あなたならどんな言動をとるか	A <input type="radio"/> 信頼できる人に相談する。 <input type="radio"/> ゆっくり休み自分の好きなことに夢中になる。		
「自殺」をすると ・ 家族を悲しませる ・ 社会に迷惑をかける ・ 望みがなくなる	<table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">1班</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">5班</td> </tr> </table>	1班	5班	B <input type="radio"/> 真剣に話を聞いてあげる。 <input type="radio"/> 信頼できる大人に相談するように勧める。
1班	5班			
「死」によって失うもの ・ 活動する時間 ・ 感動 ・ 可能性	<table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">2班</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">6班</td> </tr> </table>	2班	6班	
2班	6班			
	<table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">3班</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">7班</td> </tr> </table>	3班	7班	
3班	7班			
	<table border="1" style="width: 100%; height: 40px;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">4班</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">8班</td> </tr> </table>	4班	8班	
4班	8班			

展開の例

時間	学 習 内 容	指導上の留意点 評 価
10分	1 あらかじめ考えてきた「死」に関するイメージをまとめる。 2 本時の学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを利用し、死についてのイメージを個々に明確にさせる。 ・わが国には交通事故の死者よりも多い自殺者がいること、本誌P93～の資料のように子どもにも起こっていることについて確認する。
「死にたい」という人がいたらどうしよう		
5分	3 「死」によって失うものについて考える。 (1)「死」によって何を失うか考え、意見を出す。 ・活動する時間 ・感動 ・可能性 ・話ができなくなる ・何も食べられなくなる (2)教師の話聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・「死」によって失うものは何かを発問し、自由に発言させる。また、発言内容を黒板に書いて確認する。 ・発言が出ないときには、おいしいものが食べられない、楽しさも味わえないなど、身近なことを思い出せる事例を挙げる。 ・さまざまな可能性が止まってしまうことを説明する。
25分	4 次のような状況で、どのような言動をとればよいか考える。 A 学級の人全員にいじめられている人がいて、「私なんていない方がいいんだ・死にたい」と言ったらどうするか。 B 身近な人に「死にたい」と相談されたとき、中学生のあなたはどのような言動をとるか。 (1) 自分の意見をまとめる。 (2) グループで話し合っ考えたことをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で「死にたい」と思うような状況を深く考えさせるのではなく、「生きていることが嫌になった」というように条件設定し、死ぬことを止める方法を考えさせる。 ・グループでの話し合いは、リーダーが進行して一人一人の発表を基にどうすればよいかまとめさせる。 <p>評 課題について真剣に考え、どのような対処をするべきか自分の考えをまとめている。 (ワークシート・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談することや相談されたときの対応は、大切なスキルであることを確認するとともに、学校以外にも各種の相談機関があることを知らせる。 (P98参照)
10分	5 教師の話聞いてから、学習を通して感じたことをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・命を大切にし、自殺をするような人にはなってほしくないという教師の思いを伝えた上で、感想をまとめさせる。

「死にたい」という人がいたらどうしよう



組	番	氏名
---	---	----

1 「死」に関するイメージを8つ以内で書いてください。<5分>

	死のイメージは？	

2 「死」によってあなたが失うと思うものを自由に書いてください。

3 友達の見解を聞いて考えて考えたことを書き留めよう。

4 次のようなとき、あなたはどのような行動をとりますか？ <30分>
 (1) 学業でいじめられて、「死にたい」と言っている人がいたとき、あなたはどのような行動をとるでしょう？

① あなたの考え

② グループで話し合っ考えたこと

(2) 身近な人に「死にたい」と相談されたとき、あなたはどのような行動をとるでしょう？

① あなたの考え

② グループで話し合っ考えたこと

5 学習を通して感じたことをまとめてください。

1. 紹介するコラムの例

平成10年4月20日の山形新聞「いま語る」欄に放送タレントで作家の永六輔さんのインタビュー記事が掲載されました。その抜粋です。

「迷惑かけなければ死んだっていいじゃないか」という考えもあるようですが、誰にも迷惑のかからない死に方というのが本当に存在するのでしょうか。「安楽死」や「尊厳死」の受け止め方もいろいろありますが、積極的安楽死はともかくとして、延命治療を止めてもらうことと、自から命を絶つこととは違うと思う。例えば、アメリカでは患者の自己決定権法が制定され、患者の治療を選択する権利と治療を拒否する権利が保障され、回復する見込みの無い場合には積極的な治療を拒否する事例もある。この考えには基本的には私も同意します。経口摂取もできなくなり他に医療手段が無いような時、積極的な延命治療を断るとするのは自殺ではなく、昔のおじいさんやおばあさん達がそうであったように命のままにまかせるといふ生き方に通じる姿勢と考えるからです。

2. 事後指導の資料の例

① 生きることに関する自己点検シート

進路学習シート

自分の夢をかなえるために

組	番	氏名
---	---	----

1 現在の自分を自己点検してみましょう

(1) 自分で就きたい職業や理想の人物像が明確ですか？

〈 はい ・ いいえ 〉

(2) 悩みや不安なことがあれば、だれかに相談していますか？

〈 はい ・ いいえ 〉

(3) やりがいや生きがいを感じることはありませんか？

〈 はい ・ いいえ 〉

2 最近、感動したり生きていってすばらしいと感じたりしたことがあれば書いてください。

3 今、自分で興味を持っていることや、がんばっていることは何か書いてください。

② 生徒の心に響く話の例

小学5年生の学習を思い出させるために、再度、マザー・テレサの話を出して・・・

マザー・テレサは、人間の最も悲しむべきことは何だと言っていたか覚えていますか？

「人間にとって最も悲しむべきことは病気で貧乏でもなく、自分はこの世に不必要な人間だと思ひこむことです。そしてまた、現世の最大の悪は、そういう人に対する愛が足りないことです。望まれないで生まれてきた人は、一人もいません。」と言っていましたね。

人は、与えていただいた自分の命を大切にし、自分の生き方を探しながら生活してこそ価値があります。どんなに苦しくても、社会にうちひしがれても、大きな失敗をしても、一生懸命に生きていればきっとよいことが巡ってきます。皆さんはこれからも自分の命を大切にして生活してください。この世には不必要な人はいません。

未来に向かって

指導にあたって

1 題材設定の理由

この時期の生徒は、自分の特性をある程度理解した上で、漠然としてはいるが、将来の構想をもっている。その反面、自分で型にはめてしまい、よさや持ち前に気がつくことができずに閉塞感にさいなまれ、不安定な状態にある場合も多い。そこで、他者から見た自分の別の特性に気づくような活動を行うことで、困難にぶつかった時、その状況を多面的に捉え、柔軟に対処していくしなやかな力をつけたいと考えこの題材を設定した。

2 指導の流れ

(1) 事前指導

- ①自分の未来を想像して未来予想図を作る。
- ②適性検査や職業の適性に関する学習を行う。

(2) 事後指導

- ①自分の新たな可能性について考える時間を設定する。
- ②改めて適性検査を実施したり、過去に実施した適性検査の結果を見直したりする。
- ③受験や卒業に向けて、自分のやるべきことやできることを考えさせる。
- ④いろいろな経験をしている人の事例等を取り上げ話題にする。

板書の例

未来をソウゾウしてみよう

◎ 未来を **想 像** しよう

私の未来予想図

未来

現在

個性やよさを生かせる職業を友だちに伝えよう

- 長所を見つける。
(一人一人もっているものがある。)
- 具体的な場面から考える。
- 相手を思いやり、真剣に伝える。

たくさんの可能性
 たくさんの道
 たくさんの生き方

◎ 未来を **創 造** しよう

展開の例

時間	学 習 内 容	指導上の留意点 評価
10分	<p>1 作成した「私の未来予想図」をもとに、10年後の自分の姿について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな仕事をしているか。 ・どこで暮らしているか。 ・どんなことを楽しんでいるか。 ・どんな生活か など <p>2 本時の学習課題を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や希望をかなえた未来の自分を想像させることで、本時の活動への意欲を高めたい。 ・10年後には、ほとんどの人が働いていることを確認し、具体的に自分の仕事や趣味などと関連させながら、話し合う。
未来をソウゾウしてみよう		
30分	<p>3 友だちのよさや持ち前を生かせる職業とその理由を考え、相手に伝える。</p> <p>(1) カードに具体的に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A君は、JAXAの広報担当者 ・B君は、保育士 ・Cさんは、芸能関係の仕事 ・Dさんは、カウンセラー <p>(2) カードをお互いに交換し合いワークシートに貼る。</p> <p>(3) 友だちに合っている職業とそれを選んだ理由を詳しく伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A君は、宇宙や星のことをよく知っている。話も上手だから。 ・B君が、幼稚園訪問したときの姿をみていてそう思った。 ・Cさんは、歌がうまいし芸能界についてよく知っている。 ・Dさんは、話をよく聞いてくれる。 <p>(4) 友だちの意見を聞いて感じたことや考えたことをワークシートに書いてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職業名や理由を簡単に記入するカードを配付する。(グループの人数分) ・友だちの普段の行動を考え、長所や特性を生かせる職業を考えるように助言する。 ・記入できない生徒には、その友だちの長所や特性を伝えて共に考える。 ・理由を伝える場合は「こんなことがあったから」「こんな場面を見たから」など具体的な話し合いになるように助言したい。 ・欠点と思っていることや嫌だと思っていることも裏を返せば長所になることを伝える。 ・自分の思っていたことと比べ、自分の別な可能性について考えてみるように助言する。 <p>評 自分にはたくさんの可能性があることに気づき、柔軟に対処していく心構えをもとうとしている。(ワークシート、発表、観察)</p>
10分	<p>4 学習のまとめをする。</p> <p>(1) 教師の話聞く。</p> <p>(2) 未来予想図を見直してみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人がたくさんの可能性をもった存在であり、幾通りもの生き方ができることを伝えたい。また、未来は「創造」するものであることを伝えたい。 ・未来予想図に別な道を書き込んだり枝分かれさせたりして、これから歩む人生をイメージさせたい。

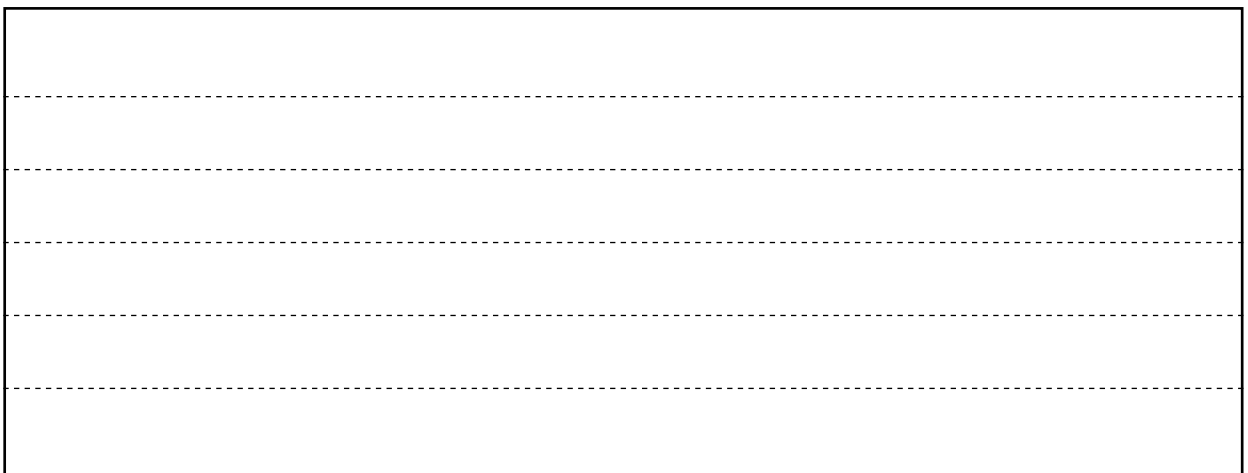
未来をソウゾウしてみよう

3年()組()番 名前()

友だちが私に合う職業を選んでくれました。「友だちの未来予想カード」を貼りましょう。

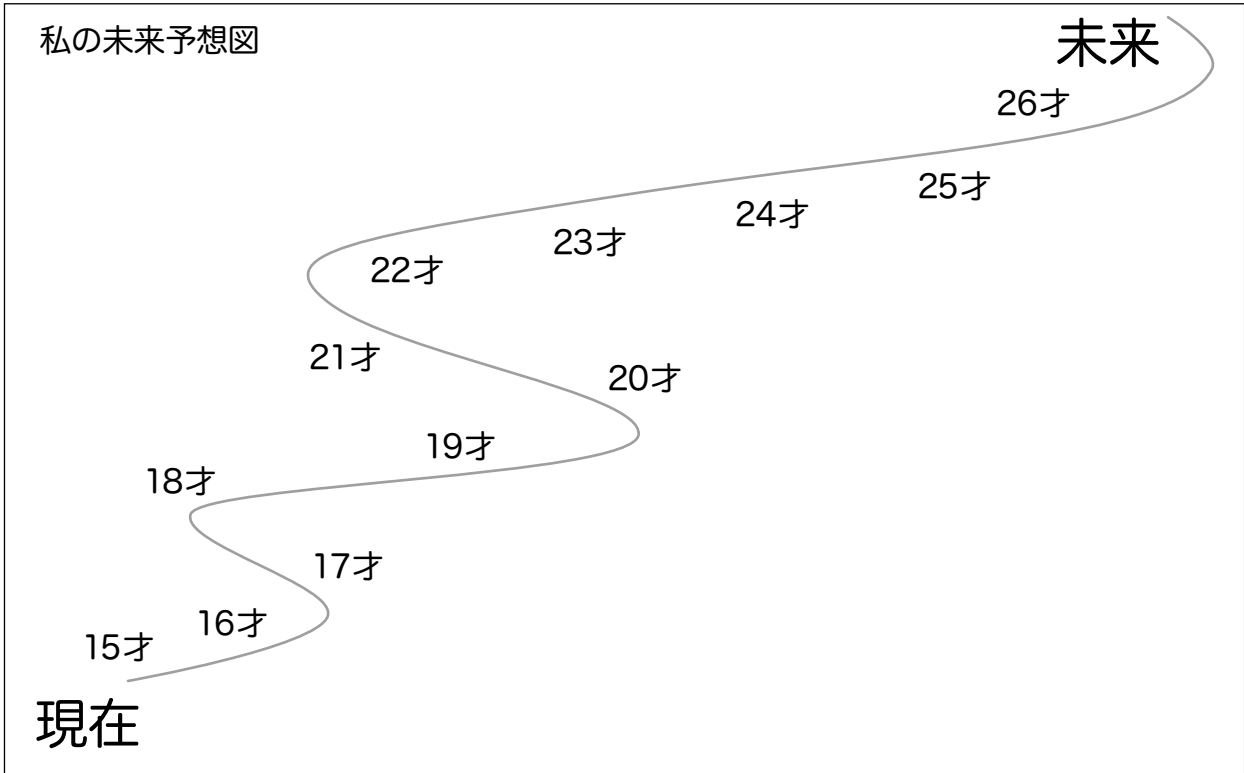


感想



参考資料

- ・自分がその年代にどうなっているか想像をふくらませて自由に書く。
- ・あまり制約せず楽しく書く。
- ・犯罪や人の迷惑になることは書かない。



事前指導で時間を十分に確保したい。

友だちのよさや持ち前を生かせる職業を見つけてあげよう。

《理由	さんに合っている仕事は 》です。	《理由	さんに合っている仕事は 》です。
友だちの未来予想カード			
《理由	さんに合っている仕事は 》です。	《理由	さんに合っている仕事は 》です。

コラム④

自殺系サイト

パソコンや携帯電話のインターネットを介した青少年の問題行動が深刻になっていきます。学校裏サイトやブログ（ネット上の個人日記）への書き込みによるいじめや出会い系サイトを通じての性非行の問題と並んで、自殺系サイトも子どもの心身に有害な影響を与えています。自殺系サイトとは、自殺願望を持つ者同士がネット上で交流することです。2003年～2005年にはサイトで知り合った者同士が練炭で集団自殺する事件が続出したり、2008年にはネットで流された情報をもとに硫化水素による自殺の連鎖も起こりました。2005年には中学生が練炭自殺に加わったり、2008年には高校生が硫化水素による自殺を図ったりと、子どもを巻き込む事件も起こっています。

思春期・青年期は、友人や家族の人間関係、進路や生き方など、多くの悩みを抱えて葛藤が生じやすい時期です。死にたいと思いつめるほどの悩みがあってもその思いを語る場をもたない子どもにとって、ネットは匿名性のもとで唯一本音が出せる場になっていることもあるのです。同じ悩みや苦しみをもちあわせ者が面と向っては話せないことも語り合うことができるからです。しかし、それにとどまらず、仲間を募って集団自殺を引き起こしたり、自殺方法を詳細に流して自殺を後押ししてしまう事件が起こっています。

実際に顔を合わせていれば、話題が広がったり具体的な行動を伴うことで偏った思いこみから自由になることもできますが、ネット上では話題が狭い範囲に集中してしまいがちです。自殺系サイトでは自殺の話題だけで会話が交わされるため、広い視野から柔軟に物事を考えることができなくなり、自殺へ引き込まれる危険性が高まると考えられます。

今後、自殺系サイトへの規制を強めたり、自殺願望にブレーキをかける自殺予防サイトを作ることが必要であると思われます。そして、何よりも、現実場面で悩みを話せるような身近な人との信頼的な人間関係を築いていくことが大切なのではないでしょうか。



「教師が知っておきたい 子どもの自殺予防教育」より（平成21年3月）文部科学省